



# Weekly Report

NO.1195 平成 25 年 07 月 23 日

## 小諸浅間ロータリークラブ

例会日/週火曜日 12:30 ~ 13:30 例会場/小諸市鶴巻 音羽  
事務局/〒384-0025 長野県小諸市相生町 1-2-12 エイワンビル 2 階  
TEL 0267-23-8125 FAX 0267-23-2788

### 2013-2014 役員

会 長 / 小林 秋生 副 会 長 / 渡辺 文夫  
幹 事 / 清水 良英 広報・情報委員長 / 矢島 栄一

ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を  
2011-14年度 国際ロータリー年



点鐘 小林 秋生 会長  
 SAA 湯本 敏晴 委員長  
 ソング 我らの生業  
 ゲスト 高木 智彦 様 (東信第一グループ  
 ガバナー補佐)  
 甘利 享一 様 (東信第一グループ  
 ガバナー補佐事務局・小諸 RC)

### 【会長挨拶】 小林秋生 会長

本日は、高木ガバナー補佐が事前訪問ということでおみえになられました。改めて歓迎申し上げたいと思います。一緒にお見えになったガバナー補佐事務局の甘利さんも、ようこそおいで下さいました。

さて、本日は、この後のクラブ協議会の中で、クラブ運営について、また基盤維持についての問題点など、重要な活動についてご指導を戴くわけでございますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。先程、高木補佐さんを交えて、会長、幹事懇談会を開きました。高木ガバナー補佐のお話によると、2600 地区では最盛期に比べて1,500 人も会員が減っているそうです。クラブ基盤の維持増強という問題がどこのクラブでも、やはり重大な悩みになっているわけであります。

高木補佐さんは「魅力あるロータリーの再発見を」ということで、こんな時こそ、ロータリーの原点に戻り、再構築が必要であると言われます。

ロータリーの原点とは、100 年ぐらい前、ポール・ハリスは何が見えて、また何を考えていたのでしょうか。そう思って、私は会長を務めるこの機会にと、ロータリーの歴史をすこしだけ読んで見ました。

ポールハリスは弁護士になる前、アメリカ各地、ヨーロッパ等を 5 年くらい放浪して研修をしました。戻って来て、定住を決めたシカゴの街は、あのアンタチヤップルにもあるように競争と闘争を繰り返す、殺伐の社会でありました。ポール・ハリスは「ここには人はいっぱいいる。でも友達はどこにもいない」と言っております。

もっと和やかで、思いやりのある、そして節度ある世の中は出来ないものかと、数人の知人を誘ってできたのが、ロータリーの原点であります。

企業人や専門職でそのトップの立場にあるが故に、同じレベルで悩みを相談したり、喜びを語り合うような、仲間的な友人がなかなか居らない。そのため、

やもすると孤独に陥ってしまう。

そして、仕事の上では、社会の中で <sup>しのぎ</sup> 鎬を削り合う。これではやはり世の中は、殺伐につながってしまいます。そう考えると、ロータリーの原点は他を思いやる親睦であると思います。我々が週一の例会を基本として常々行っている親睦の精神、このイデオロギーを魅力として発信する以外に原点からの道はなかるうと思いますが、皆さんはいかがでしょう。

社会に奉仕するため、お金を出し合う人々の団体であると言う解釈が、先ず走ってしまうのが、現在のロータリーではないでしょうか。

アピールする方法としては、これぞと思う人を、例会に無料招待する。

それも月一くらいで数回招待するなど費用も掛ける。また趣味・スポーツ・旅行など、いくつも立ち上げて、親睦の分科会等を活発にし、その会に好きな人を誘いながら魅力を作りあげていくなど、方法はまだいろいろあると思います。先ずは、親睦からではないかと考えますが、皆さんのご意見もお聞きし、このあとの協議会で語り合いたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 【幹事報告】 清水良英 幹事

#### 1. 宮坂ガバナーより

・公式訪問について

日時 8月6日(火)

会長・幹事懇談会 11:30 ~ 12:20

例会 12:30 ~ 13:30

・地区大会について

日時 10月19日(土)20日(日)

会場 ホテルブエナビスタ(松本市)

登録料 7,000 円(全員登録)

申込締切 8月9日(金)

・RLI part1開催について

日時 8月10日(土)9:30 ~

場所 塩尻市市民交流センター(えんぱーく)

・ロータリーカード入会申込書

#### 2. クラブ計画書

佐久コスモス、佐久、蓼科 RC

#### 3. 例会変更

小諸 RC 8月7日(水)納涼夜間例会の  
為 定刻受付あり

8月14日(水)定款による休会

定刻受付なし

蓼科RC 7月31日(水)夜間例会の為  
定刻受付あり

上田東RC 8月7日(水)納涼例会の為  
定刻受付あり

8月14日(水)定款による休会  
定刻受付なし

9月4日(水)学童保育所との交流  
会の為 定刻受付あり

4. (株)アイクより小諸新聞

5. 週報 佐久コスモス、上田、RC

・当クラブ、来週7月31日(火)定款による休会

**本日の配布物**

週報 1194号、理事会報告、2013～2014年度予算書、地区大会パンフレット、ニコBOXお願い

**【委員会報告】**

クラブ運営委員会 依田晋一郎 委員長  
～納涼例会のお知らせ、ニコBOXのお願い～

**ラッキー賞**

NO9 両川 栄 君

**ニコBOX 依田晋一郎委員長**

高木智彦君	皆様のご協力、よろしくお願いします。
甘利享一君	IM会員セミナーをよろしくお願い申し上げます。
小林秋生君	本日はガバナー補佐の事前訪問です。高木ガバナー補佐さんよろしくお願いします。
清水良英君	高木ガバナー補佐、甘利さん、ご訪問頂きまして、ありがとうございます。

神津恭通君	高木ガバナー補佐、甘利さん、ご苦勞様です。
依田晋一郎君	高木さん今日はありがとうございます。
両川栄君	ラッキー賞ありがとうございました。新年度に入って2回目です。
渡辺文夫君	高木ガバナー補佐、本日はご苦勞様です。
前田博君	高木さん、ごくろう様です。

【出席報告】 橋詰 希望 委員

	会員数	出席	M・U	欠席	出席率
本日 7月23日	24	20	事前1名	3	83.33%
前々回 7月9日	24	21	事後0名	2	87.50%

次週のプログラム：定款により休会 / 次々週のプログラム：宮坂侑洪ガバナー公式訪問

**【本日のプログラム】 ガバナー補佐事前訪問**

【講師】

RI第2600地区東信第一グループ

ガバナー補佐 高木智彦様

まず、宮坂ガバナーの紹介を少ししたいと思います。宮坂ガバナーは7月号のロータリーの友で紹介されているのでそれをお読みいただきまして、ちょっぴり補足しますと、岡谷市の岡谷



駅近くにある真言宗智山派の照光寺という大きなお寺の住職で、ご本人は仏教学者で、先代住職のお父さんも仏教学者で名古屋大学の名誉教授や智山派官長を務めた大物のようです。

お坊さんですから、話し方はうまく、説得力もある方です。今年のR Iテーマは「ロータリーを  
実践し、みんなに豊かな人生を」(Engage Rotary  
Change Lives) 2600地区の標語は「人は  
得るものによって生計をたて、与えるものによっ  
て人生を築く」と、何か哲学的な内容です。

今年のR Iテーマについては、どうしてこんな  
訳になるんだとの論議もありますが、昔の映画  
「カサブランカ」で、ハンフリー・ボガートがイン  
グリッド・バーグマンに「Here's looking at  
you,kid.(直訳すれば、子ヤギちゃん、君をみているよ)でしょうが、訳は「君の瞳に乾杯」。名訳として有名な話ですが、このような意識であると理解してもらえればいいのではないかと思います。

ロータリー財団と米山記念奨学会への寄付について

ガバナーから「これは補佐が言ってほしい」との要望があったものですが、一つはロータリー財団への年次寄付目標は一人平均150ドルを達成してほしいということです。もう一つは、米山記念奨学会に対して普通寄一人3000円以上(13日の地区チーム会議では担当委員長からは年間6000円とも言われた)特別寄付一人平均2万円以上の目標を達成してほしいとのこと。

ロータリー財団については、これまで地区から毎年2000万円ぐらい提出しているが、戻ってくるのは1割の200万円ぐらいだった。それが未来の夢計画で、2012~13年度の地区補助金は約200万円だったが、制度が変わる今年度の新地区補助金は462万円と倍以上になるとの話でした。しかし、7月13日に開いた地区チーム会議では、当初の額が400万円だったのが円安のおかげで600万円になったとか。今回、補助金の交付が決まったのは56クラブのうち、31クラブとの報告がありました。1クラブ当たり約20万円の補助です。意外ロータリーと金額は少ない感じです。

#### 会員増強と退会防止

2600地区、56クラブの7月1日現在の会員は1968人と前年より46人減って2000人を割ってしまいました。

世界規模では増えもせず、減りもせずということのようですが、日本は確実に減少傾向になっているということです。

ちなみに2600地区の最高は小暮ガバナー(95~96年度)の3288人。小諸ロータリークラブの竹内宗次ガバナー(1999~2000)の時は3019人でした。

小諸浅間ロータリーもチャーターメンバーが34人だったのが、24人と減っているようですが、小諸ロータリーも34人で最高時のちょうど半分になってしまいました。

クラブ計画書を事前に見せていただいてびっくりしたのは、小諸浅間さんの平均年齢が70歳ということ。小諸ロータリーは64歳。東信第1グループは

佐久コスモス	52人	62.7歳
蓼科	13人	61.5歳
佐久	39人	58.2歳(1前)
軽井沢	40人	61歳
南佐久	20人	65歳
千曲川	22人	64歳

ロータリーの高齢化は、当然ながらいい面と悪い面がある。小諸浅間さんの場合は、団結が強い感じがする。地区協議会や地区のセミナーに小諸浅間は出席がいいのに、小諸ロータリーはどうも欠席者が目立つ。

こんなところに、小諸浅間さんのいい面があると感じている次第です。

6月2日に開いた地区の会員増強セミナーでは

#### 度末に発生する退会防止

#### 年長者の退会防止

#### 若年層の会員増強

の3点について話し合いました。

年長者の退会防止というのが、新しい試みです。

私が会長だったころは、「退会防止」ということばに、「後ろ向きだ」といった意見も出ていたのですが、次代の流れにはかなわないようです。

#### 来年のIM・研修セミナー

当番である小諸ロータリーは10月5日に開く50周年記念式典との絡みもあって、現在、具体的にはほとんど決まっていませんが、これまでに決まったことは以下の通りです。

1.日時 平成26年2月8日(土)

会場はグランドキャッスルの予定

この日は、中信第1グループと重なり、ガバナーは式典だけ参加予定

1. IMについては、講演会の開催

講師は、ノーベル受賞者の山中伸弥次教授が所長を務める京都大学iPS細胞研究所で副所長・臨床応用研究部門の主任研究者の中畑竜俊博士。内容の具体的なものは今後要望していくが、iPS細胞の活用と課題について優しく噛み砕いて話してもらう予定です。

1. セミナー研修

ロータリーが奨励しているRLI方式で複数以上の会員による討論方式を検討。

以上よろしく願いいたします。